

令和 5 年度研究推進計画

学校名 東広島市立龍王小学校

校長名 土肥 美 由 紀

1 研究主題等について

(1) 研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて  
～考えを広げてつなげることを意識した授業づくりの工夫を通して～

(2) 主題設定の理由

広島県では、これまで「広島県版『学びの変革』アクション・プラン」を策定し、「これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指した主体的な学び」を促す教育活動を推進することを目指してきた。

本校においても、開校以来5年間、研究主題を「主体的な学びの創造」とし、課題発見・解決学習による授業づくりを基盤として、ICTの効果的な活用を行いながら主体的に学ぶ児童の育成に取り組んできた。その結果、本校児童のICT活用スキルは年々向上し、身に付けた技能を生かして課題解決に主体的に取り組む児童の姿も多く見られるようになってきた。

本校の児童は素直で与えられた課題に一生懸命取り組むことができる。一方、学習活動を進める中で生じた新たな課題を見付け深める力や自分と友達の考えを統合したり比較したりしながら新たな考えを見出す力は十分ではない。その背景として、3年間のコロナ禍において、対話的な活動を控えざるを得なかったことが挙げられる。これから子どもたちが生きていく社会は、変化が激しいと言われている。このような社会を生き抜いていくためには、他者と関わり協働的に学び続けることが重要なこととなってくる。コロナ禍における様々な制限が緩和されつつある今年度は、他者との対話を取り入れた授業づくりの工夫を行うことを通して、児童の主体的に学ぶ力の育成や学びの深まりを求めていきたいと考え、研究主題を「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」とした。

(3) 研究仮説

対話的な活動を取り入れた授業を行い、児童が学びの深まりを振り返ることで、考えを広げたりつなげたりしながら確かな力を身に付けるであろう。

(4) 研究内容

①必然性のある対話的な活動

- ・考えを広げるための対話的な活動
- ・考えをつなげるための対話的な活動
- ・学びを深めるための対話的な活動

②振り返りの充実

- ・振り返りの効果的な場面の設定

## 2 検証計画

検証の視点	方法	実施時期	検証の指標	達成目標
児童の主体的に学ぶ力を育成することができたか。	・アンケート ・研究授業	・5月・研究授業後・11月 ・6月～11月	・児童アンケート ・児童の振り返り ・研究授業参観者による評価	・肯定的評価 85%以上 ・評価票肯定的評価 3.0以上(4段階)
考えを広げたりつなげたりするための対話的な活動を工夫することができたか。	・アンケート ・研究授業	・5月・研究授業後・11月 ・6月～11月	・児童アンケート ・児童の振り返り ・研究授業参観者による評価	・肯定的評価 85%以上 ・評価票肯定的評価 3.0以上(4段階)
振り返りの効果的な場面を設定することができたか。	・研究授業	・6月～11月	・研究授業参観者による評価	・評価票肯定的評価 3.0以上(4段階)

## 3 校内研修計画

- 対話が広がりつながるための学級づくりを行う。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりの工夫について全体あるいは部会で定期的に理論研修を行う。
- 国語科，算数科，特別支援教育において，各学年1回以上，課題発見・解決学習を取り入れた研究授業を行う。
- 研究協議において挙げられた課題について，部会研修で改善策を検討し，日々の授業づくりへとつなげる。
- 国語科，算数科，特別支援教育において，年間3回以上，指導主事を招聘して研修を行う。

## 4 研究公開の予定について なし